

第8回 PBLグランプリの実施について

地域創生人材育成プラットフォーム事業推進センター

≫趣旨……本学のブランディング ～「地域」と「教育・研究」・「学生」をつなぐ～

1. キャンパス内で理論、キャンパス外(地域社会)で実践、という学びを深める循環型学習環境の整備
2. 社会との繋がり、経験を重ねることでの学生自身の社会人基礎力(主体性、課題解決力、協働力)の養成
3. 地域の発展や振興を標榜する大学として地域活性化の中核的存在となるような教育・研究活動の推進
4. SDGsを実践するための学びの推進

≫内容……PBLの学内コンペ

正課内、正課外を問わず、自治体、企業、事業者等と連携し、大学も地域も元気になるような優れた本学が行うPBL型学習活動の取組を表彰する。大学単独で課題を解決する場合も含む。

- ・原則として、キャンパス外(地域社会)にある課題を見出し、大学で学んだ知識や技術を活用し、考え、議論し、行動する中で地域の発展に貢献するとともに、学生自らの学習機会とする。
- ・PBLの学習活動分野は「医療福祉」・「食育」・「スポーツ」・「健康」・「まちづくり」・「子育て」・「SDGs」等とする。
- ・活動には本学の教員と学生が必ず関わり、一定の活動期間を定めたものとする。
- ・過去グランプリ受賞団体においては、同様の活動でエントリーした時点で「プラチナリーグ」での扱いとなる。

≫スケジュール(流れ)……エントリーから審査まで

エントリーシート※1の提出

令和7年9月30日(火)締切

提出先 地域人材育成センター

PBL活動推進費の支出

必要に応じて支援

活動状況報告書(中間報告)の提出※2

令和7年10月31日(金)締切

提出先 地域人材育成センター

本選会(※3書類選考のみ)

令和8年 2月 6日(金)締切

提出先 地域人材育成センター

※1エントリーシート: PBLのタイトルと目的、内容(チーム名、メンバー、協働先、期間・目的等)
メンバー構成単位(授業・ゼミ・クラブ活動・その他等)

※2活動状況報告書: ポスター等にして大学祭開催時に掲示する

※3活動報告書: パワーポイントを使用。活動途中の場合は中間での成果報告も可

※1※2及び※3→学生と協議のうえ、教員が提出。

≫審査手順・表彰

中間報告会

応募シートに基づきポスターセッションを実施し、一般参加者及び審査員のコメントを頂き、事業内容の修正や本選会の発表内容に活かす

審査員

民間・行政団体等の地域創生に関する有識者、学内教職員

本選会(書類選考)

学内において公開プレゼンテーションを実施し、審査を経て「各賞」を決定

表彰(賞状と副賞(記念品))

プラチナリーグ グランプリ(1件)
グランプリ(1件)
準グランプリ(1件)
特別賞 ※行政団体等の地域創生に関する有識者が決定(3件)

- ・エントリー団体には、PBL活動推進費(3万円)を支援
- ・中間報告として大学祭と開催時にポスターセッションを行う

≫その他

- ・本事業に係る活動は、本学広報誌やホームページ等を通して広くかつ積極的に地域社会に取組を紹介します。
- ・プラチナリーグでグランプリに輝いた団体はプロジェクト経費による事業化を検討します。